

病院名 精神医療センター 平成19年度バランス・スコアカード(実績)

理念 人権と環境に配慮しつつ調和にみちた精神保健活動を行う。

平成21年度に目指すべき姿 県内の精神医療を担う中核施設であり、政策医療として、思春期精神障害、アルコール依存症、身体疾患を伴う精神障害、処遇困難例などの専門医療の充実を図る。また、精神科救急医療施設として救急医療の充実を図るとともに、医療観察法に基づく鑑定入院および通院指定機関としての役割を果たす。精神障害の予防・治療・社会復帰までの一貫したサービスが、患者の居住する地域で提供できるよう、精神保健福祉センターをはじめ、地域の医療機関や保健所、福祉施設など関係機関と緊密なネットワークを構築する。

区分	シナリオ	戦略的目標	主な成果	業績評価指標	H19 目標値	H19 実績値	H21 目標値	アクションプラン実績
顧客の視点		患者満足度の向上 医療安全の徹底 救急および急性期医療の充実 地域信頼度の向上 社会復帰の推進 情報公開の推進	患者サービスの向上 医療事故の未然防止 救急医療の充実 急性期医療の充実 地域との連携強化 在宅支援ネットワーク構築 県民信頼度の向上	患者満足度調査の評価値 (総合評価で「やや満足」以上の率) インシデント・アクシデントの改善提案率 救急患者受入件数(救急システム) 措置鑑定件数 新規入院患者数 紹介率 自助グループへの支援 在宅支援ネットワーク構築準備 ホームページアクセス数 (月あたり件数)	50%	59.5%	55%	・外来調査11月12日～16日、入院調査10月～12月に実施 ・報告分析、対策検討はほぼ実施 ・救急システムによる患者受入と空床の確保 ・精神科急性期治療病棟の試行を実施 ・県下の新酒会各支部の記念例会やAAオープンスピーカーズミーティング等へ職員が参加 ・地域連携システム構築に向けた検討を実施 ・ホームページの適宜更新と内容充実を図った
財務の視点		経営基盤の安定化 収益の確保 費用の削減	医業収支の改善 患者数の増加 費用の削減	医業収支比率 病床利用率 延べ外来患者数 デイケア通所者数 診療収益に占める材料費の割合 診療収益に占める経費の割合 後発医薬品の採用品目数	64.7%	65.4%	66.0%	・地域連携を密にして退院促進と新規入院患者数の増加を図ったが、目標達成には至らなかった ・個別面接の実施や個別目標の検討等を行った ・材料費の購入に関し、節減を努めた ・契約形態の見直し等による経費節減を実施 ・薬事委員会において安全性、安定供給等について審議し、後発医薬品を選定
内部プロセスの視点		医療の質の向上 医療の標準化 運営体制の確立	医療の質の向上 クリティカルパスの導入 目標管理の徹底	病院機能評価の自己評価結果 平均在院日数 クリティカルパス作成件数 クリティカルパス適用件数 BSCモニタリングの実施回数	各項目 評価3以上	91%	各項目 評価3以上	・1月～3月に自己評価を実施 ・急性期患者の適正医療の実施により、短縮化を図った ・ARPPバス作成活用開始。うつ病バスの検討実施。 ・APRバスの発表会実施 ・年度評価を実施
学習と成長の視点		職員の意識改革の推進 人材育成の充実	改善意識の向上 職員の資質の向上 専門資格の取得	改善提案件数 職員満足度調査の実施 研修会の実施 事例検討会の実施 専門医の育成 指定医の育成 認定看護師の育成	5件	0件	10件	・提案箱の設置と周知を図ったが、提案はなかった ・未実施 ・病院内における研修会を実施 ・専門的な知識を習得するため、専門医等の育成を図った。 (精神神経学会認定専門医 3名) ・精神保健指定医1名